

消 息

日本經營學會第十六回大會記

□十月三十一日から十一月二日まで三日間に亙つて明治大學で日本經營學會第十六回大會が開催せられたが参加者實に一六四人に上り極めて盛會であつた。本年の共通論題は「生産力擴充と經營問題」であつて、其報告者及び報告論題は次の通りである。

- 一、生産力擴充と經理統制 大阪商大 木村和三郎氏
- 一、生産力擴充と經營比較 東京商大 松本雅男氏
- 一、生産力擴充と勞務管理 福島商大 中村常次郎氏
- 一、生産力擴充と勞働能率 神戸商大 古林喜樂氏
- 一、經營均衡と生産力擴充 横濱商大 黒澤 清氏
- 一、生産力擴充と輸送力 明治大學 麻生平八郎氏
- 一、組織的合理化について 東京帝大 高宮 晉氏

第一日、生産力擴充は生産性の向上であり、生産擴充は生産量の増大である。そして今日は生産擴充の時代であつて、この段階では生産性の低下のために物價が騰貴する故に、利潤統

制、次いで生産費統制によつてその抑制が企てられた。併しその効果は騰貴の時期をおくらすにすぎないといふ木村教授の主張の後をうけて、松本は先づ生産力擴充と經營比較との基本的關係を説明し、そのうち特に勞働意慾を刺戟するために行はれる經營報奨制度に役立つ經營遣振り比較をとりあげて、これを詳述した。中村教授は戦争の勞務管理への影響を説明した後に、企業資本家的意識と國家的要請が個別資本に於て如何なる關係をもつかを理論的に研究すべき必要を主張されたに對し、古林教授は、過去の合理化時代の勞働能率觀に比較して現在戦時經濟下に於ける勞働能率の特色を論じ、この新たな勞働能率問題の解決に必要な條件として産業組織の革新、勤勞理念の變革等を力説せられた。次に生産力擴充のためには、財務均衡、技術均衡、費用均衡の必要なることが黒澤教授によつて主張せられ、生産力擴充と輸送力との關係をみるに、戦時には輸送力不足、戦後には輸送力過大となる故に、今日前者は輸送力の合理化により、後者は國土計畫による輸送計畫によつて配慮せられねばならぬことが麻生教授によつて論究せられた。

第二日、生産力擴充のめざす優秀、豊富、低廉な生産は生産合理化によつて達成せられるが、生産合理化のうち今日特に重要なのは經營相互間に於ける合理化であることが高宮教授によ

つて力説せられた後に、共通論題についての質疑應答が會員間に活潑に行はれたが、そのうち特に記録を要するのは生産力擴充は、黒澤教授の主張に反して、經營均衡を破ることによつて促進せられるのではないかといふ古林教授の質問であらう。

□、第一日、共通論題の報告後、午後三時から公開講演會が開かれ、其處では京都帝大、谷口吉彦教授は「資金凍結と東亞經濟」の題下に、資金凍結の意義、歴史、東亞に及ぼす影響を種々な角度から詳論せられ、庶民金庫理事長青木得三氏は「日本財政金融の前途」の題下に日本財政金融は膨脹するであらうと論じ夫々聴衆に多大の感銘をあたへた。

□、第二日から第三日午前にかけて左記の諸氏が夫々次の自由問題について報告せられた。

一、共榮圏内に行はるべき貿易契約の新形態について

東京外語 大谷敏治氏

一、經營と倫理

中央大學 大越貞一氏

一、中小商業統合の必然性

關西大學 加藤金次郎氏

一、中小工業經營の合理化

山口高商 末松玄六氏

一、鐵道輸送統制

大分高商 田中喜一氏

一、アメリカ合衆國に於ける金融統制

横濱商專 鹽野谷九十九氏

一、廣域經濟の意義 早稻田大學 中島正信氏

一、中等學校に於ける商業教授内容について

名古屋高商 前島治一氏

一、生活必需品の消費規正に關する諸問題

神戸高商 本田 實氏

一、統制經濟と保險

明治大學 印南博吉氏

これらの報告はいづれも極めて有益なものであつたが、あたへられた紙幅の關係上その内容を紹介することをやめそのすべてを近く發刊される經營學論集第十六輯に譲りたい。

□學會開催中、第一日夜は明治大學總長により、第三日夜は東京商工會議所によつて夫々會員一同は晚餐會に招待せられたのであるが、席上(一)昨年度の大會に於ける要望に應じて學會幹部の若返りのために現常務理事の總辭職と常務理事を輔佐して學會振興の推進力たらしむべき幹事制度の新設が聲言せられたことと、(二)學會と實際界との連繫を一層密接ならしむるために商工會議所の専門委員會に一層廣範圍に専門學者を參加せしむることが一部の會員によつて強く主張せられたことを附記しておこう。最後に、本大會開催にあたり一方ならぬ御骨折を辱うした明治大學關係者に對し會員の一人として衷心から感謝の意を表してこの學會報告記を終りたい。(松本雅男)